

第6回  
アシタシア  
サロン

## 人新世の「資本論」

パラダイムチェンジという越境を考える

切迫する地球環境危機に対する持続可能な未来社会のあり方とは何か。晩年のマルクス研究から、気候危機と資本主義の関係を分析し「脱成長コミュニズム」という新たな社会像を示した気鋭の研究者・斎藤幸平先生がアシタシアに登壇します。ものづくりの中心地・愛知で、労働・生産・消費の変革のあり方と、豊かな地域づくりの実践テーマを考えます。

2021年 **11月5日(金)** 18:00~20:00

会場：①愛知大学名古屋キャンパス

グローバルコンベンションホール (開場時間 17:30)

②WEB参加

※新型コロナウイルス感染拡大防止による愛知大学の入構制限により会場参加が不可になる場合があります。公式サイトで最新情報をご確認の上ご来場ください。

※WEBはライブ配信のみです。(後日のオンデマンド動画のご提供はいたしません。)

※質疑は会場参加の方のみとさせていただきます。

参加費 **無料**

定員

①会場参加 150名 **申込先着順**

②WEB参加 制限なし

申込

右のQRコードを読み取ると、下記URLのアシタシア公式サイトに移動します。サイトから会場またはWEB参加の登録をしてご参加ください。(メールアドレス必須。)



<https://asitasia.aichi-u.ac.jp/topics/salon6>

### プログラム

開会あいさつ (18:00~18:05)

愛知大学学長 川井伸一

アシタシアサロン開催趣旨説明 (18:05~18:15)

愛知大学三遠南信地域連携研究センター長 戸田敏行

講演 (18:15~19:45)

大阪市立大学准教授 斎藤幸平氏

演題：人新世の「資本論」

質疑応答 (19:45~20:00)

### 講師紹介



## 斎藤幸平氏

1987年生まれ。大阪市立大学大学院経済学研究科准教授。ベルリン・フンボルト大学哲学科博士課程修了。博士(哲学)。専門は経済思想、社会思想。2018年に『大洪水の前に：マルクスと惑星の物質代謝』(邦題)によりマルクス研究界最高峰の賞「ドイッチャー記念賞」を歴代最年少で受賞。近著『人新世の「資本論」』(集英社新書)では「新書大賞2021」(中央公論新社主催)を受賞。

アシタシアについて… 愛知大学は、平成30年より文部科学省私立大学研究ブランディング事業に採択され、「『越境地域マネジメント研究』を通じて縮減する社会に持続性を生み出す大学」を研究テーマとした取り組みを進めています。越境地域マネジメントは、地域と地域、しくみとしくみ、人と人をつないで、持続可能な社会の形成を目指すものであり、豊橋キャンパスが立地する三遠南信地域と共に、名古屋キャンパスが立地するささしまライブ地区がその拠点として位置づけられています。アシタシアは、ささしまライブ地区に人々の出会い、発見の場を創出し、様々な境を越えていくことで、日本社会の明日、未来をつくることを目指すプロジェクトです。

会場参加を希望される方も、事前にインターネットによるお申込みをお願いいたします。事前のお申込みがない場合、入場をお断りすることがあります。また、新型コロナウイルス感染拡大防止による愛知大学の入構制限により会場参加が不可になる場合があります。公式サイトで最新情報をご確認の上ご来場ください。

### 【会場】

愛知大学 名古屋キャンパス  
グローバルコンベンションホール  
(名古屋市中村区平池町4丁目60番6)

